

安全運転カフェ ドライブレコーダー 取り付けマニュアル



目 次

| | |
|--------------------------------|----|
| 第1章 パーツの説明 | 1 |
| 1. 主要パーツ | 1 |
| 2. サブパーツ | 3 |
| 第2章 工具 | 4 |
| 第3章 ドライブレコーダー取り付け前の確認と準備 | 6 |
| 1. 車種確認 | 6 |
| 2. 車種確認および取り付け可能箇所選定 | 6 |
| 3. 映像保存用SDカードのフォーマット | 10 |
| 第4章 各パーツの取り付け方 | 13 |
| 第5章 録画映像の再生と保存 | 30 |
| 1. 専用ソフトのインストール | 30 |
| 2. 専用ソフトの使い方 | 30 |

【ご注意】

本書ドライブレコーダー取り付けマニュアルに記載している取り付け方や取り付け箇所は、あくまで一般的な取り付け方および取り付け箇所を例示しているものです。

しかし、車は多種多様にあり、また、運転者の運転姿勢も一様ではないことから、それぞれの最適な取り付け方および取り付け箇所は異なります。

是非、安全運転ができることを最優先にして、取り付け対象の車種、運転者の運転姿勢などを考慮した最適な取り付け方をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、ドライブレコーダーの取り付け過程ならびに取り付けたことによる車への損傷や運転に伴う事故、故障などが起きても、当方および関係者は一切の責任を負いませんので予めご了承願います。

第1章 パーツの説明

1. 主要パーツ



- ① ドライブレコーダー本体
- ② GPS アンテナ
- ③ 電源
- ④ 足下カメラ
- ⑤ ハンドルカメラ
- ⑥・⑦ 前方カメラ・運転者カメラ
- ⑧ SDカード

※…カメラ⑤～⑦は同じものなので入れ替わっても差し支えない。

①ドライブレコーダー本体

商品名「MDVR」。4つのカメラ、電源、GPSなどを取り付け、SDカードを差し込み、画像を録画するためのドライブレコーダー本体です。この本体にもスイッチがありますが、これは常に「ON」にしておきます。

※設置推奨箇所は運転席下のスペースなどです。

②GPS アンテナ

車の走行位置と車速を測定するためのGPSアンテナです。

※設置推奨箇所は運転席前のダッシュボード前方です。

③電源

ドライブレコーダーの電源です。車のシガレット電源に差し込みます。赤いボタンが電源のオン・オフです。(押し込めばオン、押し戻せばオフ)

④足下カメラ

運転中の足の動き(アクセルペダル・ブレーキペダルの様子)を撮影するカメラです。赤外線カメラ仕様ですので、暗いなかでも映ります。

音声マイクが付いています。(録音はされますが再生時には再生しない設定にします。)

取り付け時、カメラの上下向きにご注意ください。

※設置推奨箇所はフロントコンソールボックスの側面またはハンドル下部パネルです。

⑤ハンドルカメラ

運転者の側方からハンドル周りを撮影するカメラです。

取り付け時、カメラの上下向きにご注意ください。

※設置推奨箇所は運転席側のピラー上部、または、助手席ヘッドレストへの取り付け(取り付けアタッチメント活用)です。

⑥・⑦ 前方カメラ・運転者カメラ(フロントカメラセット)

道路前方および運転者自身を撮影するカメラです。

取り付け時、カメラの上下向きにご注意ください。

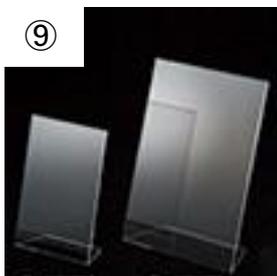
⑥・⑦カメラは、前方カメラ、運転者カメラの指定はありません。どちらを前後(前方カメラ・運転者カメラ)にさせていただいても構いません。

※設置推奨箇所は運転席前のダッシュボード上(卓上ネームプレート活用)です。

※…設置推奨箇所はあくまでも一般例です。車の形状や運転姿勢などによって最適箇所は異なります。安全運転を妨げない位置を最優先にして設置箇所をご検討ください。

※…カメラ⑤～⑦は同じものなので取り付け位置が入れ替わっても差し支えありません。

2. サブパーツ



⑨



⑩



⑫



⑪

⑨卓上ネームプレート（大・小）

フロントカメラセットを運転席前のダッシュボード上に設置する際に使用します。
車種や運転者の座高・運転姿勢に合わせて高さの異なる大小2タイプを用意しておく
と便利です。

⑩二口電源ソケット

シガーソケットに電源を差し込む際にこの二口電源ソケットを介してご利用いただくと、
ドライブレコーダーと併用して他の電子機器を使用することができます。

普段からシガー電源をお使いの場合などは、この二口電源ソケットを装着しておくこ
とをお薦めします。

⑪フレキシブルアーム型スマホスタンド

ハンドルカメラを運転席ピラーに固定することが難しい場合などに、可能なら、助手
席のヘッドレストにスマホスタンドを固定し、それにハンドルカメラを取り付けます。

⑫プラ板

厚み 0.5 mm 程度の薄めのプラスチック板をはさみなどでカットして、マジックテープ
を付けて、カメラを取り付けるときのステイにします。主にハンドルカメラを運転席側
ピラーへ取り付ける際に使用します。

第2章 工具



① 養生テープ（太・細）

一時的な取付のため、取外し時に跡が残らないよう比較的粘着力の低い養生テープを
用います。幅広のものと幅狭のもの2タイプあると便利です。

主に運転席前のダッシュボード上に据え付ける前方カメラと運転者カメラ（以下「フ
ロントカメラセット」）を取り付けるステイ（卓上ネームプレート）を固定するためと、
各コードを車体に固定する（人がひっかけたりしないようにするため）ために使用しま
す。

② 結索バンド

余ったコードを束ねて収納するために使用します。付け外し簡便なものが重宝します。

③ ドライバー（プラス）

各カメラの角度調整や固定具の調整に使用します。

④ 六角レンチ

主に足下カメラの角度調整に使用します。

⑤ バチ型クリップ

フロントカメラセットをステイ（卓上ネームプレート）に固定する際や、ハンドルカ
メラをピラーに固定する際に使用します。

また、カメラコードを車体に固定したい際にも活用できます。

商品例：商品名「1318-CR-BC5-SL バチ型クリップ シルバー」、規格：豆、クリップ
幅：15mm。

⑥ 確認用モニター

ドライブレコーダーの4つのカメラが正しく撮影できているかをその場で簡易に確か
めるための確認用モニターです。通常だと試し撮影した画像の記録されたSDカードを
ドライブレコーダー本体から取り出して、PCなどで映像を確認し、カメラ位置の調整
などを行いますが、この確認用モニターがあれば、取り付け中にその場（車内）で各カ
メラの撮影状況を確認でき、位置調整をすることができます。

カメラ調整をした後は取り外します。

表示している機種は「ITPROTECH LCD7HVR-IPS 7型マルチモニター」で、IPS液晶パネ
ル搭載、HDMI/VGA/AV 入力搭載のものです。

⑦ USBマウス

ドラレコ本体の設定などを行う際に、USBマウスと確認用モニターをドラレコ本体
に接続して行います。

⑧ マジックテープ

養生テープとカメラのステイに貼り付けることで、カメラの固定に使用します。

第3章 ドライブレコーダー取り付け前の確認と準備

1. 車種確認

ドライブレコーダーを取り付ける車種を確認します。

2. 車種確認および取り付け可能箇所選定

各カメラの取り付け位置を確認して、取り付けの可否、最適な取り付け方法などを検討します。

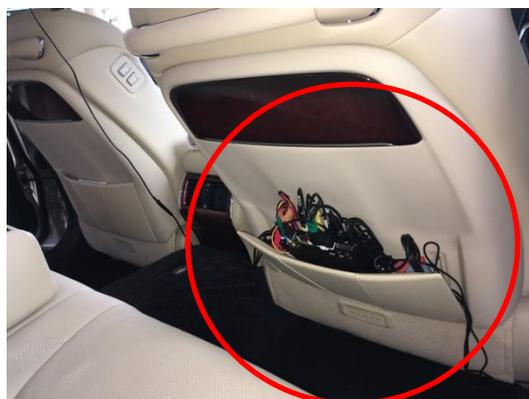
①ドライブレコーダー本体

設置推奨箇所は運転席下のスペースなどです。運転席下にドライブレコーダー本体およびカメラコード類を収納できるスペースがあるか確認してください。運転席下に余裕スペースがない場合には、運転席後ろ側の物入れなどをご検討ください。

【運転席下】



【運転席後部シートポケット】



②GPS アンテナ

設置推奨箇所は運転席前のダッシュボード前方です。フロントガラスの手前あたりに設置します。



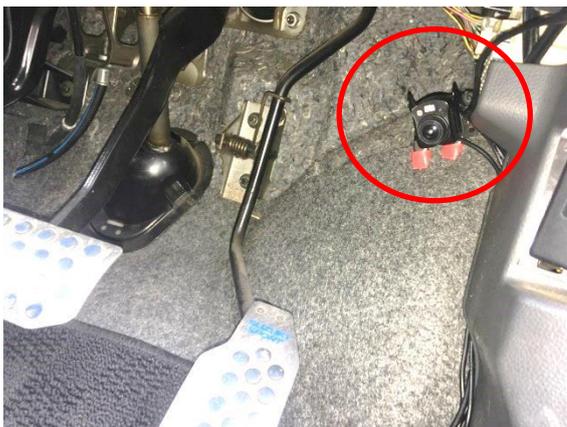
③電源

車のシガレット電源に差し込みます。シガレット電源が使用可能であるか、二口ソケットを接続できるか（日常的にシガレット電源から電源を使っているような場合には、二口ソケットで電源口数を確保する）を確認します。



④足下カメラ

設置推奨箇所はフロントコンソールボックスの側面またはハンドル下部パネルです。人によって運転姿勢やペダルアクションが異なります。アクセルペダルやブレーキペダル操作の邪魔にならないよう設置に最大限の注意を払う必要があります。ペダル踏み換え時での接触可能性や落下の可能性があるなど、十分な安全性が確保されない場合には運転席右下部あたりへの設置もご検討ください。



⑤ハンドルカメラ

設置推奨箇所は運転席側のピラー上部です。ピラー上部への取り付けが難しい場合には、助手席ヘッドレストへの取り付け（フレキシブルアーム型スマホスタンドなどの活用）などもご検討ください。



⑥フロントカメラセット

設置推奨箇所は運転席前のダッシュボード上（卓上ネームプレート活用）です。車種や運転者の座高・運転姿勢に合わせて高さの異なる卓上ネームプレートを適宜選定して設置してください。なお、ダッシュボード表面の加工状態によっては養生テープの粘着性が効かず、固定が困難な場合もあります。その場合は、フロントパネルに密着させるぐらい前方に設置して、フロントパネル下部に養生テープで固定するなどもご検討ください。



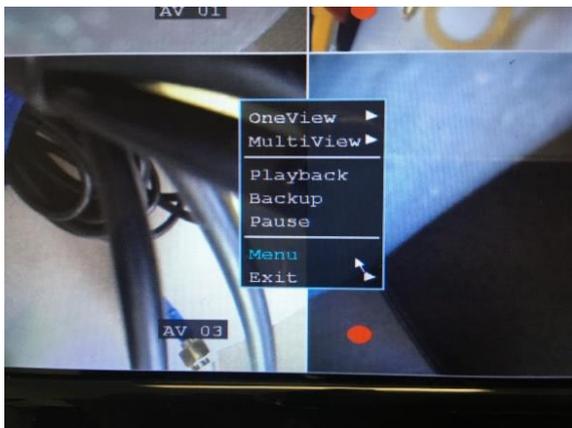
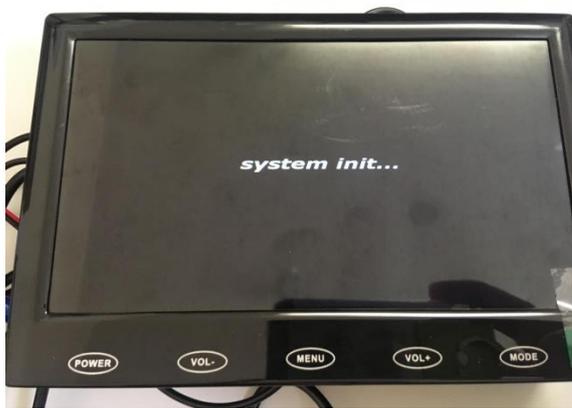
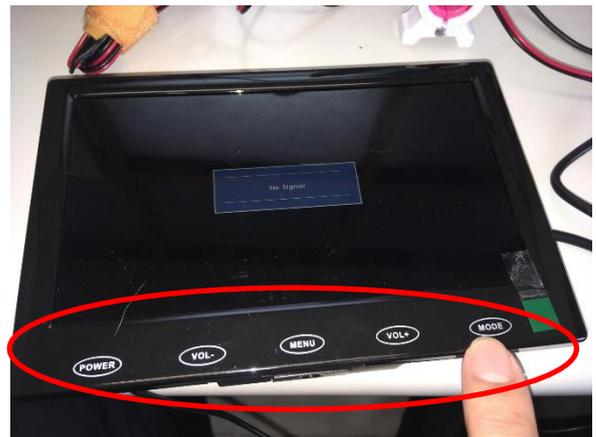
3. 映像保存用SDカードのフォーマット

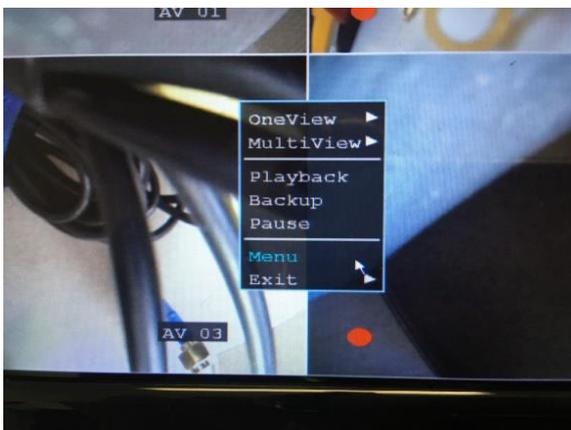
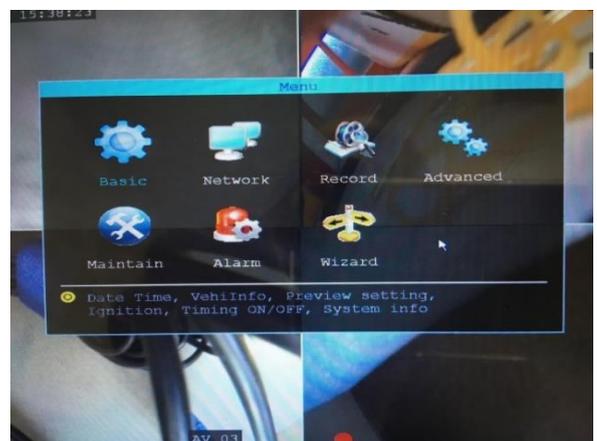
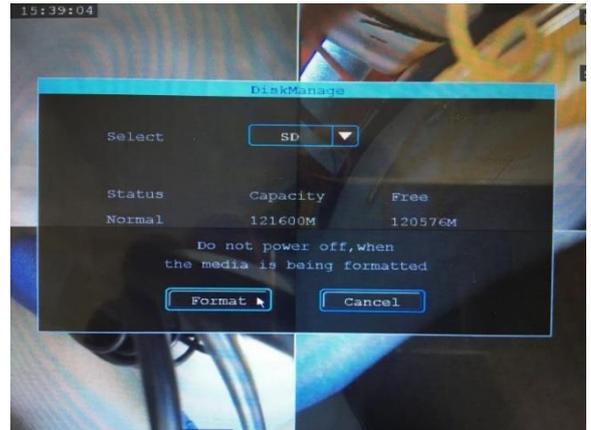
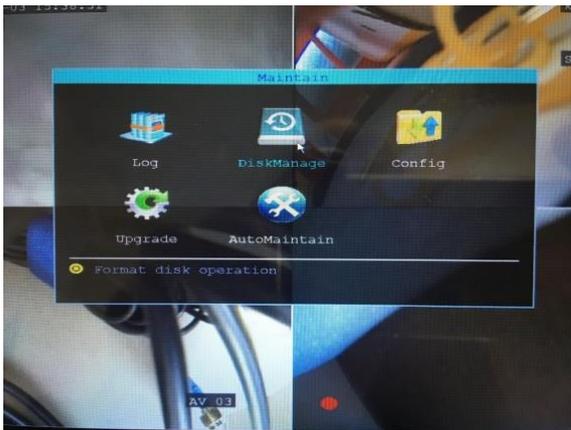
データ保存用のSDカード（128GB）を記録可能にするためにはドラレコ本体を使ってフォーマットします。※通常のPCを使ってフォーマットしたSDカードを使用するとそのSDカード自体が使用できなくなる場合があるので、必ずドラレコ本体でフォーマットしたSDカードをご使用ください。

《手順》

- ①確認用モニターと USB マウスをドラレコ本体に、電源コードは車体シガレット電源に接続します。
- ②フォーマットしたいSDカードをドラレコ本体前面のスロットに差し込みます。
- ③車のエンジンをかけるかアクセサリモードにして電源に電気を通します。
- ④「ピー」となった後モニター画面に「system init…」の文字が表示され、しばらくすると4画面の表示に切り替わるので、右クリックし、「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤右クリック⇒Login⇒右クリック⇒Menu⇒Maintain⇒DiskManage⇒Format⇒SDカードがフォーマットされます。
- ⑥右クリック3回でMenuを閉じます。さらに、右クリック⇒Exit⇒Closeの順にクリックし、「ピー」と鳴ったら電源エンジンをOFFにします。
- ⑦確認用モニター（電源ケーブル、受信ケーブル含む）をドラレコ本体から取り外して片づけます。







第4章 各パーツの取り付け方

各カメラの取り付け位置を確認して、取り付けの可否、最適な取り付け方法などが検討できたら、各パーツを取り付けていきます。

取り付ける際には、車を汚したり傷付れたり、また、テープの剥がれ残しなどがないようにするため、粘着性の比較的弱い養生テープやクリップ（プラスチック製、ゴムカバー付きなど）を活用します。

取り付ける順番は特にありませんが、電源が確保できないとドライブレコーダーは記録できませんので、取り付け可否の確認も含めて、まずは電源から取り付けます。

また、各パーツが取り付けられたら、最後に確認用モニターで4つのカメラ映像を確認して映り具合やカメラの位置および角度などの最終調整を行います。

① 電源

車のシガレット電源に差し込みます。その際、後で映像確認する際に使用する確認用モニターの電源も確保するため、二口ソケットを間に挟んで使用します。

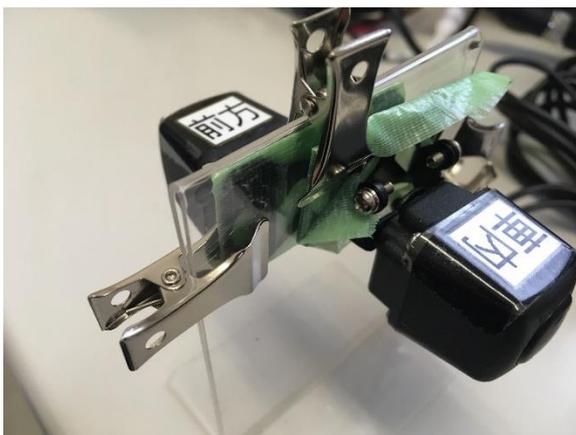


② フロントカメラセット

設置推奨箇所は運転席前のダッシュボード上（卓上ネームプレート活用）です。車種や運転者の座高・運転姿勢に合わせて高さの異なる卓上ネームプレートを適宜選定して設置してください。なお、ダッシュボード表面の加工状態によっては養生テープの粘着性が効かず、固定が困難な場合もあります。その場合は、フロントパネルに密着させるぐらい前方に設置して、フロントパネル下部に養生テープで固定するなどもご検討ください。



ダッシュボード上に卓上ネームプレートが貼付けできたら、続いて、前方カメラと運転手カメラを卓上ネームプレートに取り付けます。その際、カメラの上下向きに注意しながら、前方カメラは前向きに、運転手カメラは内向きにバチ型クリップを使って挟み止めます。



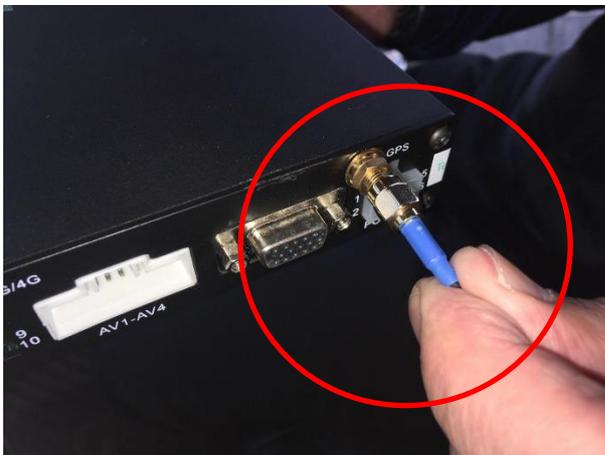
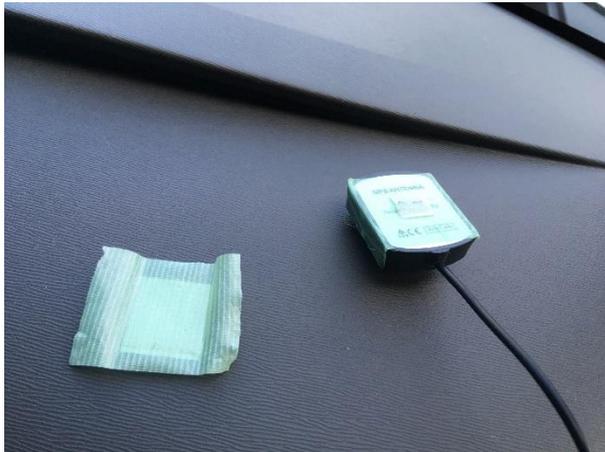


③ GPS アンテナ

設置推奨箇所は運転席前のダッシュボード前方です。フロントガラスの手前あたりに設置します。

2 cm 角程度に切った養生テープの粘着面とは反対側の面に、1 cm 角程度に切り取ったマジックテープの片面（雄雌どちらでも OK）を貼付け、ダッシュボード前方に貼り付けます。そこへ、切り取ったマジックテープの相方を GPS アンテナ裏に貼り付けたものを設置します。

GPS アンテナのケーブルをドラレコ本体に接続します。



④足下カメラ

設置推奨箇所はフロントコンソールボックスの側面またはハンドル下部パネルです。人によって運転姿勢やペダルアクションが異なります。アクセルペダルやブレーキペダル操作の邪魔にならないよう設置に最大限の注意を払う必要があります。ペダル踏み換え時での接触可能性や落下の可能性があるので、十分な安全性が確保されない場合には運転席右下部あたりへの設置もご検討ください。

足下カメラにはクリップが付いています。このクリップを運転席下の適切な場所に挟み込んで設置しますが、クリップ設置が難しい車体構造や運転の妨げになってしまうような場合には、少し映像が遠くなってしまいますが、このクリップを運転シート右下の足下マットに挟み込んだり、養生テープにマジックテープを貼り付けたものを挟み込んだりして固定します。

設置の際にはカメラの上下に注意してください（赤外線カメラ用ライトが付いている側が上面です）。





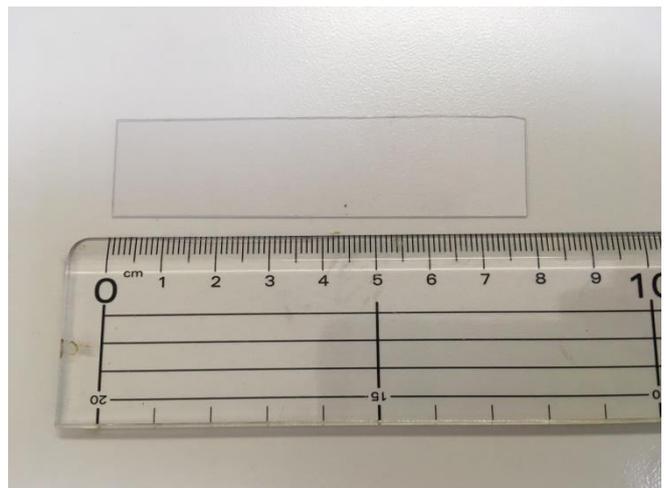


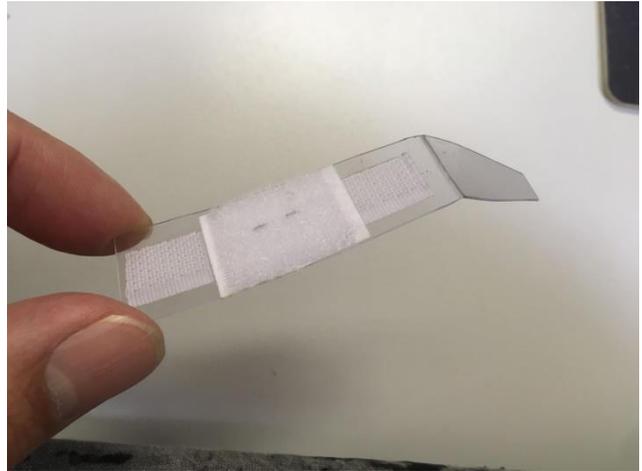
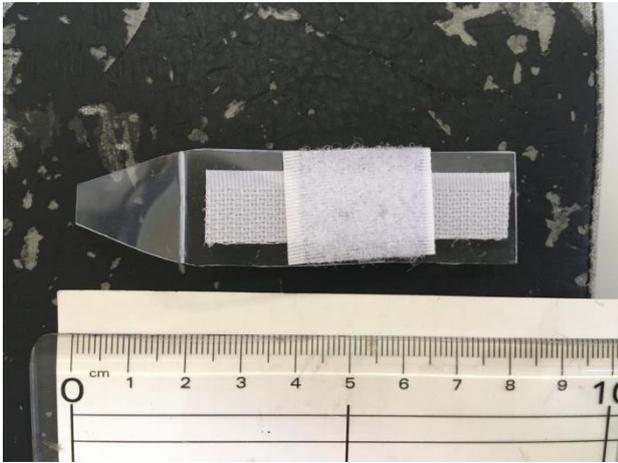
⑤ハンドルカメラ

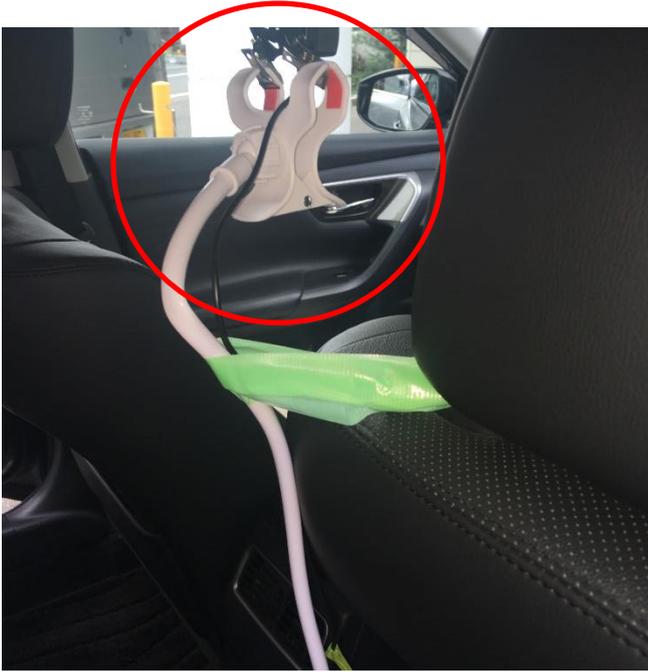
設置推奨箇所は運転席側のピラー上部です。

ピラー上部に取り付ける際には、まずはカメラに付属しているクリップをピラー上部の天板との境目に差し込むことを試みます。それが難しい場合にはプラスチック板を1 cm×3 cm程度の長方形に切り取ってマジックテープを貼り付けたものをカメラステイとして使用します。

また、運転席側ピラーに取り付けが難しい場合にはフレキシブルアーム型スマホスタンド等を活用して助手席ヘッドレスト等に取り付けます。







⑥ドライブレコーダー本体

データ保存用にフォーマットされたSDカード（128GB）をドラレコ本体前面のスロットに差し込みます。

ドラレコ本体のスイッチは「ON」にしたままにしておきます。

GPSコードや各カメラのコード、電源コードをドラレコ本体後部にあるスロットに差し込みます。



設置推奨箇所は運転席下のスペースなどです。運転席下に余裕スペースがない場合には、助手席下や運転席後ろ側の物入れなどに収納します。



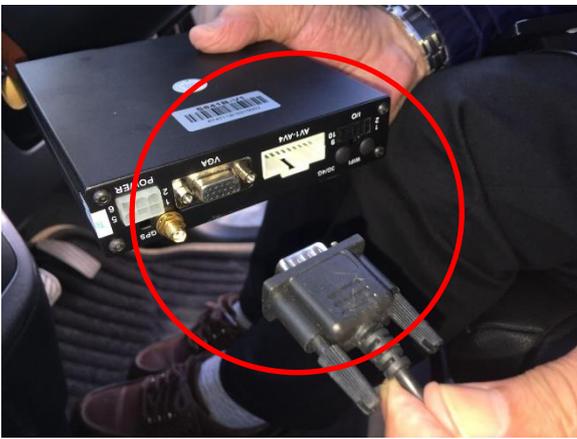
⑦映像確認

確認用モニターを使用して、設置した各カメラの映像チェックを行います。

確認用モニターの電源コードをシガレット電源に接続し、受信ケーブルはドラレコ本体後部の出力ポートに接続します。車のエンジンをかけるかアクセサリモードにして電気を通します。

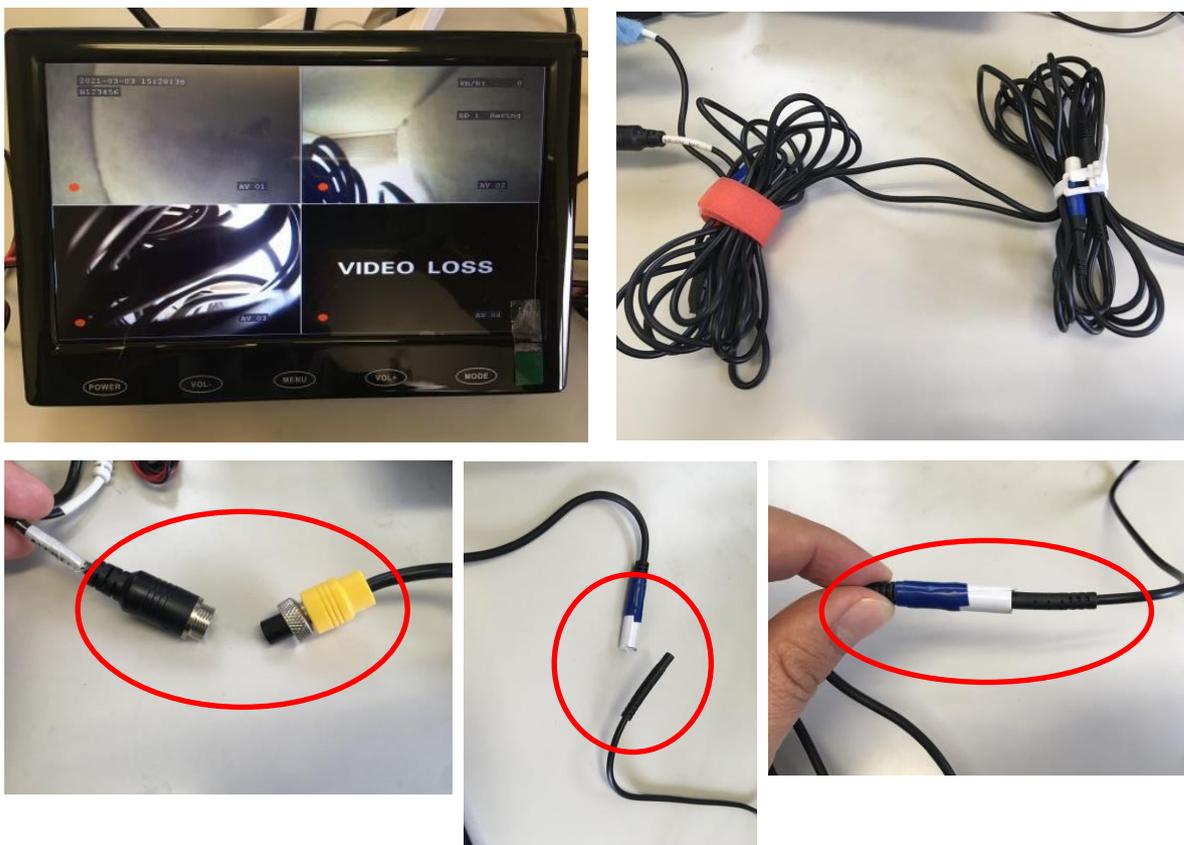
モニター枠にあるスイッチ（タッチパネル）で受信信号チャンネルを選択し、各カメラの映像が映し出されているのを確認します。

また、各カメラ映像に出ているオレンジ色の印で、録画されているかどうかの確認ができます（オレンジ色の印が出ていれば録画されています）。



【エラーメッセージ】

「VIDEO LOSS」というエラーメッセージが出て、映像が映し出されていない場合には、配線の接続具合を確認します。特に1本のカメラコードには1～3か所程度のコネクタ部分（継ぎ足し部分）がありますので、それらの接続を再確認します。

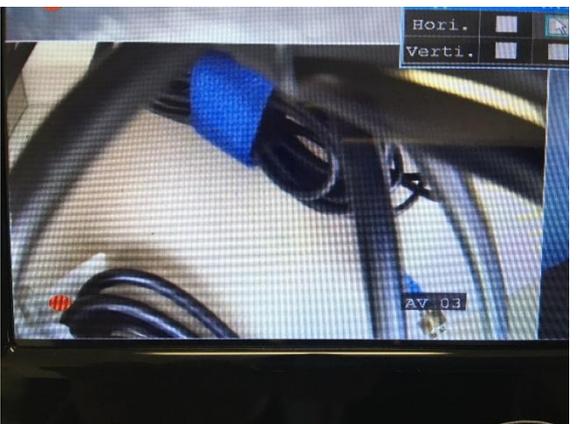
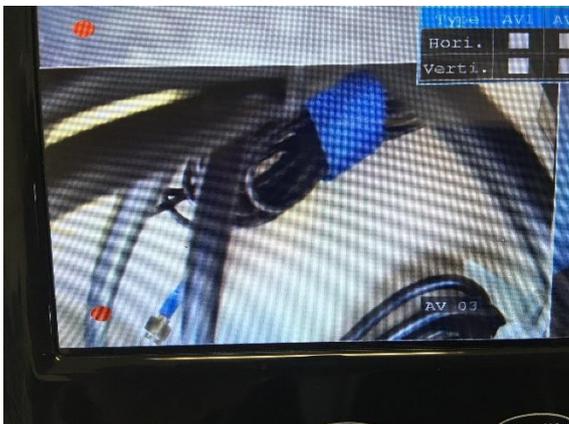
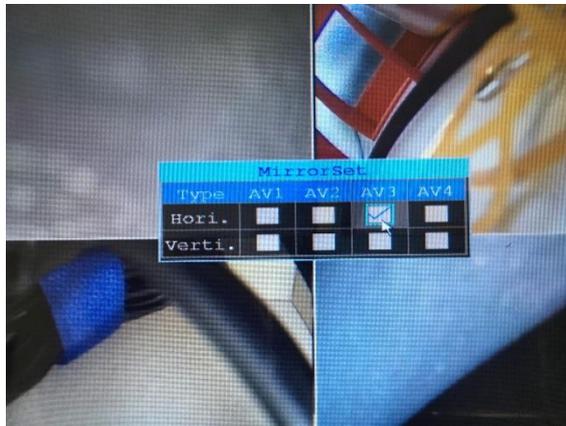
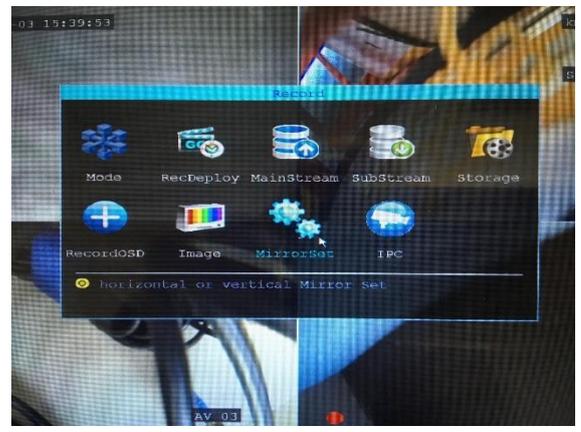
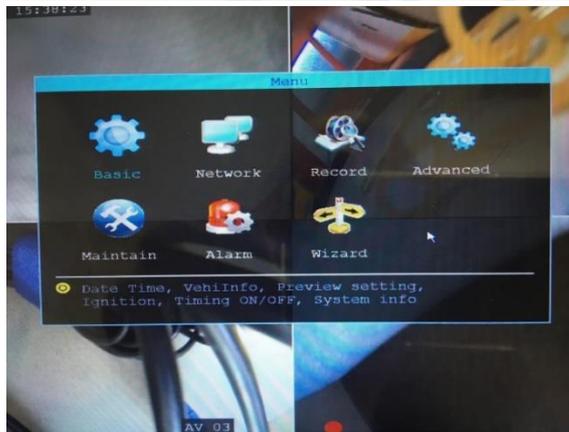
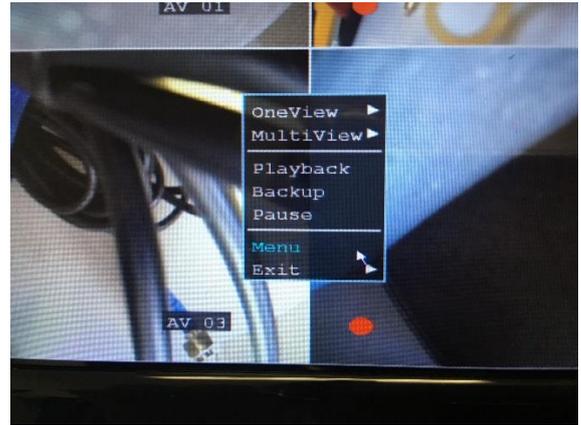


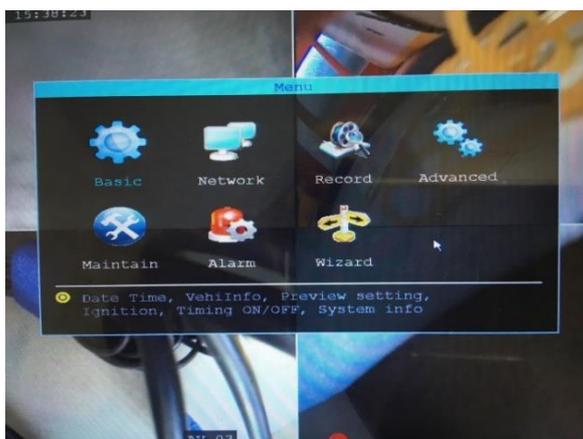
【映像が左右反転している場合など】

カメラ映像が鏡像（左右反転）している場合などは、ドラレコ本体での設定で調整することができます。

《手順》

- ①確認用モニターと USB マウスをドラレコ本体に接続します。
- ②車のエンジンをかけるかアクセサリモードにして電源に電気を通します。
- ③「ピー」となった後モニター画面に「system init…」の文字が表示され、しばらくすると4画面の表示に切り替わるので、右クリックし、「OK」ボタンをクリックします。
- ④右クリック⇒Login⇒右クリック⇒Menu⇒Record⇒MirrorSet⇒反転しているカメラにチェックを入れる⇒右クリック3回でMenuを閉じます。
- ⑤右クリック⇒Exit⇒Closeの順にクリックし、「ピー」と鳴ったら電源エンジンをOFFにして調整終了です。



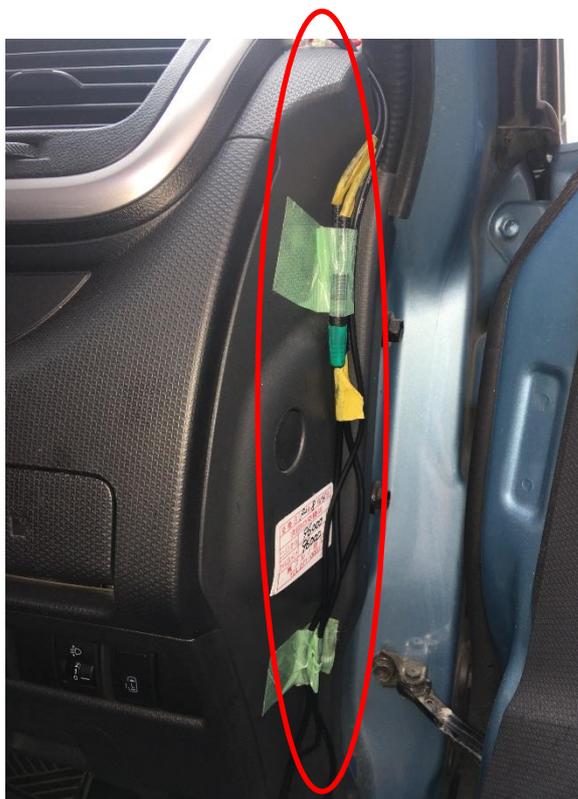


⑨コード類

各カメラに繋がっているコード類を取りまとめて、運転の邪魔にならないよう、また、運転中に剥がれてくることがないように、車体内部に固定していきます。

フロントカメラセットのコードとGPSのコードは運転席ダッシュボードの端に沿って養生テープなどで固定していきます。コンソールパネルの内部に納められるのであれば一部分でも納めておく方が剥がれなどのリスクが無くなり安心です。

各カメラケーブルの余りはドラレコ本体に近いところで結索バンドを使用して束ねてドラレコ本体と一緒に運転席下などに収納します。







⑩最終確認と後片づけ

車内のカメラの取り付けなどで触れた箇所を乾いたタオル等で拭きあげるとともに、各カメラレンズも拭いておきます。最後に、カメラの取り付けやコード類の剥がれなどがいないか確認し、さらに、車内への工具の忘れ物などがいないか確認して取り付け終了となります。



第5章 録画映像の再生と保存

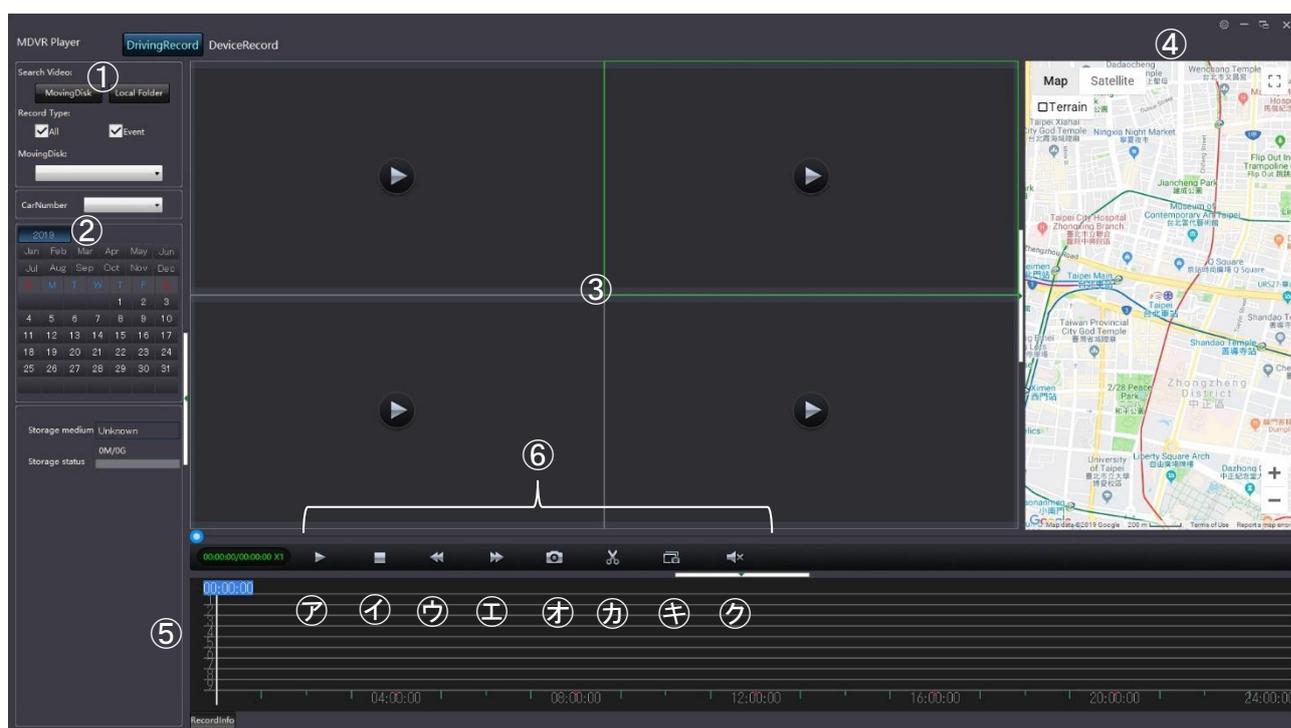
1. 専用ソフトのインストール

MDVRPlayer プログラムが入った付属のCD (MDVR ビューアソフト) をお持ちのPC等にダウンロードして、指示に従いインストールします。



2. 専用ソフトの使い方

【MDVRPlayer 画面説明】



①映像データ読み込み先切り替え

②データカレンダー

③4カメ映像ウィンドウ

④GPS マップ

⑤再生ツールバー

⑥映像操作ボタン

ア再生、イ停止、ウスロー再生、エ早送り再生、オスナップショット、カ編集、

キフルスクリーン、ク音声

【MDVRPlayer 操作方法】

●動画閲覧

- ①SD カードを PC に挿入し、MDVRPlayer のソフトを起動します。
- ②「Moving Disk」をクリックします。
- ③録画された動画がある場合、カレンダーの日付が緑色になるので、閲覧したい動画の日付をクリックします。
※容量が大きいと多少時間がかかります。
- ④下のグラフに表示された青い時間帯から、閲覧したい時間をダブルクリックすると動画が再生されます。

●動画のバックアップ

- ①あらかじめ任意の保存先に保存用フォルダを作成しておきます。
- ②「Moving Disk」をクリックします。
- ③録画された動画がある場合、カレンダーの日付が緑色になるので、閲覧したい動画の日付をクリックします。※容量が大きいと多少時間がかかります。
- ④ハサミマークをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤「Start Time」と「End Time」の時間をクリックし、保存したい開始日時と終了日時を指定します。
※キーボードの→ボタンを押しても日付や時間の変更が可能です。
- ⑥保存場所を選択し「OK」ボタンをクリックすると動画が保存されます。
※何も指定のない場合の保存先：

C:\¥>ProgramFiles(x86)>MDVR>MDVRPlayer>BackUpFile

●保存した動画を閲覧する

- ①「Local Folder」をクリックし、保存先のファイルを選択し「OK」ボタンをクリックします。
- ②カレンダーより日付をクリックし、青い時間帯の上に表示された時間をダブルクリックすると動画が再生されます。

●その他の機能

- スナップショット：4画面のうち、選択した1画面のみ写真保存できます。
保存場所：C:\¥>ProgramFiles(x86)>MDVR>MDVRPlayer>Shapefile
- フルスクリーン：全画面表示（※キーボードの「ESC」ボタンで解除できます）

※ご注意

- SD カードはフォーマットしないでください。
- PC でフォーマットすると、動画が録画できなくなります。

安全運転カフェ

ドライブレコーダー取り付けマニュアル

特定非営利活動法人 安全と安心 心のまなびば

2021年3月

一般社団法人 日本損害保険協会 自賠責運用益拋出事業